

1. 2020年度経営指標

経営目標	連結売上高	700億円
	内、海外拠点	473億円 海外比率: 68%
	連結営業利益	113億円 利益率: 16.1%
	内、海外拠点	69億円 利益率: 14.6%

2. 中期資本政策指標

	17年度(実)	18年度(見込み)	20年度
ROE	9.9%	8.1%	12%
連結配当性向	19.8%	22.4%	25%

3. 中計達成のポイント

身の丈7割で生き残る体質づくりの構えを維持(国内)

地域／商品／顧客／事業の多角化の更なる推進

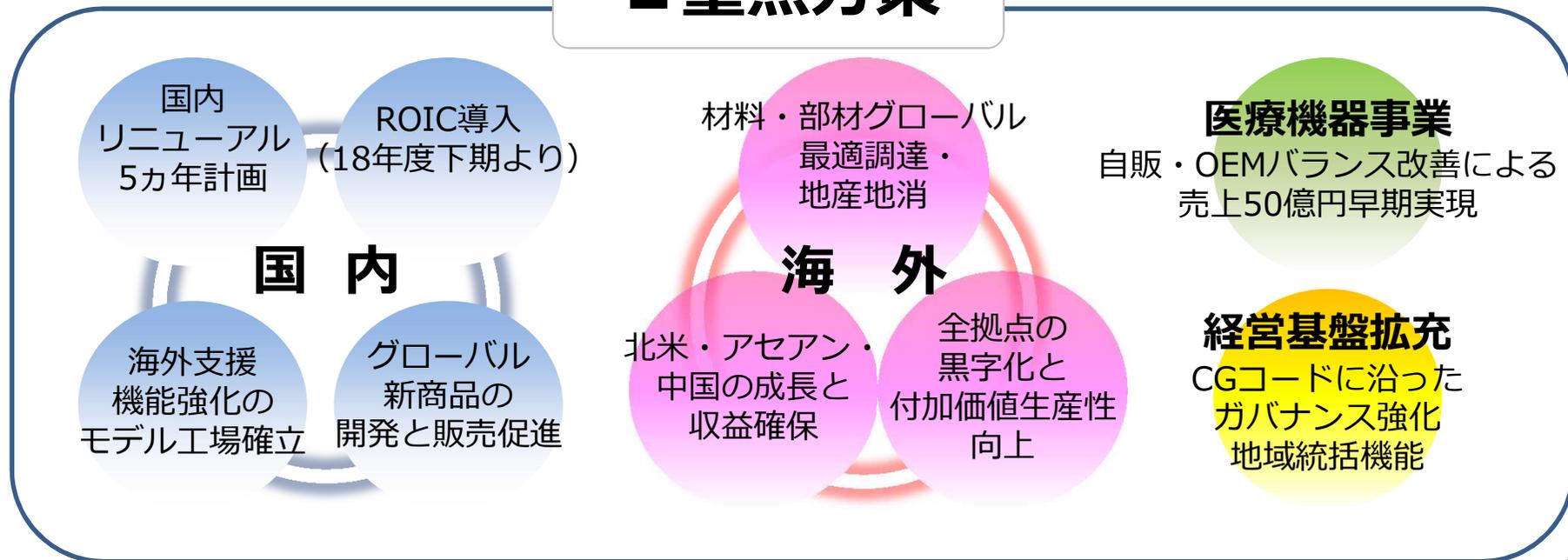
北米／中国／アセアン3極のバランス良い収益構造構築

アジア／北米と医療事業で成長を、成長事業と単体で利益を創出する

中期経営計画 要約②

■ 計画の前提	国内	日系自動車各社は、2020年に向け安定成長基調 アライアンス/提携関係の実効開始、競争関係加速
	海外	日米欧は成熟路線、中国、インドなど新興国が全体をけん引 環境対応、CASE進行 リスク想定 (US関税、NAFTA条件、原材料&労務費高騰、Brexit、地政学)
	数値条件	世界全需 2018年9,560万台(2017年比+2%)、2020年1億台へ 為替 1US\$=105円

■ 重点方策



中期経営計画 要約③

多角化推進戦略の目指す指標

地域

北米／アセアン／中国／欧州 = 3:3:3:1

商品

①成長戦略商品を海外OEM拡販につなげる
成長戦略商品 : 成熟締結商品 3:7 ⇒ 4:6へ
(燃料系・開閉機構部品) (ファスナー・駆動系・ハーネス部品)

②将来商品群(環境対応部品、自動化運転、安全対応部品)の構築

顧客

海外OEM向け販売比率 15%(100億円)目標

事業

医療事業構成比率 6%⇒10%目標

利益処分に関する基本方針

当社は、最大より最良を目指す「質重視」の経営方針に基づいて収益力の向上、財務体質の強化を図っており、株主の皆様に対する利益配分につきましては、連結配当性向25%を中期目標とする中、安定配当の継続をベースとしつつ、業績に裏付けられた弾力的な利益還元を行うことを基本方針としております。

また、事業展開の節目には記念配当を実施し、1996年度以降は、年20円以上を安定的に配当してまいりました。